



広い空 未来につなぐ えがおの南山幼稚園

港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子

令和7年9月25日

September 25, 2025

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai

10月園だより



次へとつながる経験を

園長 河合 晴美

9月の下旬になり、やっと涼しい風が吹き渡るようになりました。子どもたちは、園庭や屋上で思いっきり遊び、2学期の行事に向けての取組を始めているところです。

先日は、麻布十番の秋祭りに多数の御参加をいただきまして誠にありがとうございました。子どもたちが自分が育つ地域で楽しい経験をする事は、地域に対する親しみや愛着をもつことができます。また、地域の皆さまに囲まれながら、一緒に楽しさを味わうことは、その後も安心感を抱くことになります。地域の皆さまは、小さいお子さんを持つ家庭とのつながりをとても大切にし、急な災害にも備える関わりとして意識しています。この温かい地域にある幼稚園として、私たちに出来ることをさらに考えていきたいと思っております。

さて、2学期の遊びでは、経験したことを自分の考えとして表しながら遊ぶ姿が見られています。

3歳児りんご組は、保育室でピザづくりが始まりました。つくったピザを宅配したり、ピザ窯で焼いたりして楽しみました。4歳児ばら組は、飛行機やバツをつくり動かすことを楽しもうとしていました。5歳児さくら組は、「まつり」にでてくる店を数人のグループで考え、つくりました。3歳児は遊ばせてもらったことを思い出し、断片的に取り入れ自分たちの遊びとして取り入れました。子どもたちが経験したことを活かし、さらに次の経験へとつないでいく様子が見られます。そこでは「どうしようかな・・・」と一度立ち止まり、考えを出したり、整理したりしながらつないでいく姿になっています。

それぞれの学級では、発達に応じて一日の出来事を振り返り、明日につなげていくための話（共有）をしています。今日一日の中であったことを子どもたちが学級の友だちと共有すると、それらがきらきらとした宝物のような出来事になります。そして、それぞれが感じたこと、考えたことがオリジナリティとして加わります。幼稚園での出来事を御家庭で話すお子さん、あまり話さないお子さんがいますが、聞いてほしいような経験、話したくなるような出来事であふれる毎日になりたいと思っております。お子さんとの帰り道、お風呂や寝る前のひととき、話したり、聞いたりすることの豊かな時間を是非つくってくださいますようお願いいたします。



<3歳児 屋上で思いっきり走る>



<4、5歳児 砂場で互いに関わり遊ぶ>

